

京都教区時報

第225号

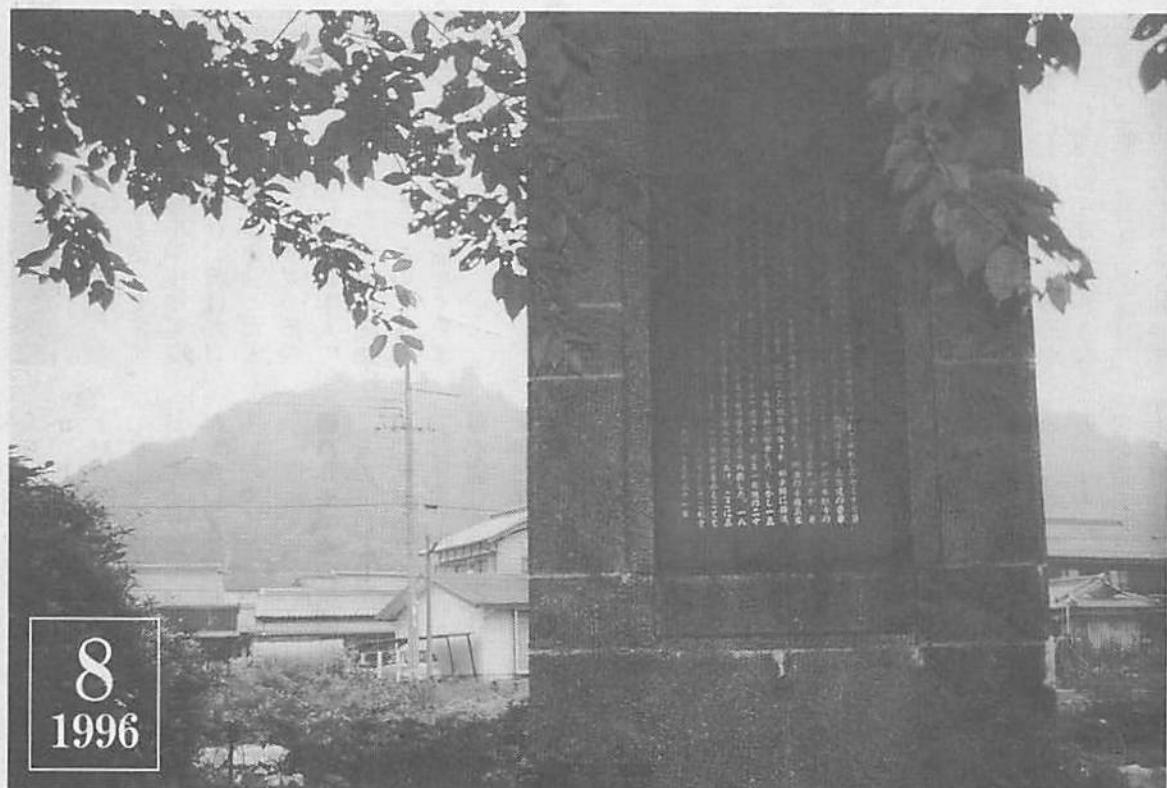
田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都教区 発行責任者 村上透磨 TEL・FAX 075-682-5673

編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F

カトリック京都教区ザビエルネット/アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST

通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N 接続環境:単回線24時間

e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

8
1996

安土セミナリヨと三木パウロ

一五八〇年五月オルガンチノ神父が信長から土地を下付されて開校したセミナリヨ（神学校）は、日本近代教育の幕あけにふさわしい充実した教育内容と、三階建の豪華壮麗な大建築とで、遠く諸外国にも知られていた。このセミナリヨもやがて本能寺の変に続く動乱のために焼失し、安土にあったのは僅か二カ年余に過ぎなかつたが、その間日本の精神的指導者となるべき幾多の優秀な人材が育成された。阿波の士族三木半太夫の子、三木パウロもその一人である。彼は一五六四年頃生まれ、幼少時に受洗、セミナリヨ卒業後一五六年イエズス会に入り、布教活動に献身した。しかし一五九六年十二月秀吉のキリシタン弾圧とともに大阪で逮捕され、翌年一月なつて大阪で殉教した。一八六二年他の二十五名の信者とともに陸路九州へ護送され、二月五日長崎西坂の丘で殉教した。一八六二年法王ピオ九世は彼ら二十六人の遺徳を讃えて全員を聖人の位にあげた。（安土セミナリヨと三木パウロ）の碑より転載）

写真は「安土セミナリヨと三木パウロ」の碑と安土城跡。

近くで遠い隣国で

聖母カテキスト会 井村浩子

近くで遠い国と言わることの多い大韓民国の首都ソウルに住んで十三年が経ちました。街を歩いている人の顔を見ると、日本人なんか区別がつきません。それほど外見は似ていますが、文化・習慣・考え方・礼儀等はやはり外国です。

私は韓国について、また日韓関係について、何も知らないままこちらに来ました。その後いろんな機会に、見たり聞いたりして、少しずつ分かるようになりました。

タクシーの運転手さんから聞いた話のいくつかを紹介しましょう。

●韓国語を使うと罰せられた

ある時は、自分の父親は日本からの独立を目指し、独立運動をしていました。捕まつて拷問を受けたり、逃亡生活をしたりで結婚が遅れ、自分は長男だが、父親が五十歳近い時の子供だという話を聞きました。

また、植民地支配下の小学校で、禁じられていた韓国語を使つたのが見つかり、罰として一週間掃除当番をさせられた等、あまり良い話を聞かなかつた頃、一人の運転

手さんが、ホツとする話をしてくれました。自分達が小学校四年の時、日本が戦争に負け、韓国が自由になつたが、その後出会つた先生も含め、一番心に残つているのは、二年の時担任だった日本人の先生だ。本当に優しくて良い先生だったとのことです。このような良い思い出を残された先生もいました。

●何をしたのか知る必要がある

最近乗つたタクシーは、日本で六年間働いたという運転手さんでした。彼は、日本人は働き者で、正直で、約束を守る等とほめてくれましたが、なんとなく居心地の悪い思いでした。日本が韓国を植民地にした当時、強国が弱国を侮らせるものにするのが、世界の動きだつたのだから、強い日本が弱い韓国を支配するようになつたのはしようがない。もし韓国が強い立場にあつたら、反対に日本を植民地にしていただろう。だから自分達はそれを認めなければならぬ。また、支配を受けた自分達は、

日本から何をされたかよく知つて

いる。日本人も我々に何をしたのか、知る必要があるのではないか、というものが彼の意見でした。私もそう思うと返事をしましたが、あまりにも知らないこと、気付かないまま過ごしていることが多いのではないかと反省しました。

●ハルモニ達の抗議

その一つとして、元従軍慰安婦の問題があります。今はハルモニ（おばあさん）となられた方達が、毎水曜日の正午に日本大使館の前に集まり、抗議デモを行つてます。

「従軍慰安婦の為の民間基金による慰労金」とか、「女性の為のアジア平和国民基金からの見舞金」などのニュースが入つたりします

が、ハルモニ達の望んではいるが、正式の謝罪や賠償金、又は補償金であつて、慰労金や見舞金ではありません。

最近はカトリック・プロテスチント・仏教・女性団体等が抗議デモに協力しており、昨年の十二月からは修道会も行動を共にするようになりました。また大使館前だけでも、今は抗議の後約一キロ程の道を、「民間基金反対」、「日本政府は正式に謝罪しろ」等と叫

びながら行進しています。先日のデモでは、百人近い参加者の中で、修道服姿のシスター達が目を引いていました。関西空港からソウルまで、飛行機で一時間と少しの、本当に近い隣国なのです。

二〇〇二年のサッカー・ワールド・カップ大会が、日韓共同開催と決まつた今、独立運動家を父に持つ運転手さんの言葉が思い出されます。それは、「過去にはいろいろなことがあった。しかし、それにはいつまでもこだわっているようでは発展がない。助け合える隣国となるため、お互い努力しなければ!!」

西大和カトリックセントラルルードの聖母完成



知っていますか?
丹波マンガン記念館

小山教会青年 箕木伸男



緑が豊かで、吹いてくる風も爽やか：京都にこんな記念館があるとは知らなかつた。『丹波マンガン記念館』最初は一体どのような所でどんな記念館なのだろうかと思つたが、到着してみると、山の緑に囲まれた、のどかで落ちついた感じの記念館。車でも気軽に行けるので、休日に家族ぐるみで行つても、学校・教会等の遠足・ハイキングなどで行つても面白いと思う。

●採掘の様子

丹波マンガン記念館では、当時の坑内がそのままの形で残っていて、当時の採掘現場、採掘の様子、どのようにしてマンガン鉱を探して、どのように採掘していたかを肌で感じができる。坑内は、全長三百メートル、所要時間は二、三十分、坑内の温度は、年中不变で十～十二度程度で、私が行った時は、とても暑い日だったが、坑内は天然のクーラーといつた感じで、とても快適に見学する殿し、地形の変動により地表に現れ、現在の鉱山になった。丹波には、最盛期には約三百カ所にも及ぶ鉱山があった。そのなかでも、当鉱山は丹波随一の鉱山だったそうだ。

●マンガンとは

「マンガン」というのは鉱石のことで、広く知られているように「マンガン電池」とか、ビールやジュースの「アルミ缶」にも塗られてたり、鉄とマンガンを混ぜると良質の鉄鋼ができ、戦中戦後軍需産業に多く利用された。丹波マ

●採掘の様子

丹波マンガン記念館では、当時の坑内がそのままの形で残っていて、当時の採掘現場、採掘の様子、どのようにしてマンガン鉱を探して、どのように採掘していたかを肌で感じることができる。坑内は、全長三百メートル、所要時間は二、三十分、坑内の温度は、年中不变で十～十二度程度で、私が行った時は、とても暑い日だったが、坑内は天然のクーラーといつた感じで、とても快適に見学する

●危険で苛酷な仕事

私が訪れた時は、記念館の方が坑内から記念館まで丁寧に説明して下さり、当時のマンガン鉱、採掘の様子などとてもよく理解することができた。また説明の中で、マンガン採掘という危険で苛酷な

ことができた。坑内には随所にマネキンの人形で当時の採掘風景が再現されていて、リアル感を与えてくれる。その他にも「飯場」「ベタ車」など、当時の鉱山の様子をよりいっそう私達に感じさせてくれる。また、記念館内では、マンガン採掘に携わった人々の写真、採掘の際、実際に使われた道具類、北海道から沖縄までの、様々な地方から集められたマンガン標本が展示されている。

仕事には、在日朝鮮人の方々が多く携わり、
被差別部落の方々が多く携わり、
毎日とても厳しい生活を強いられ
ていたこと、また岩を発破する
ときに大量の粉塵を吸つたことなど
り塵肺になり、それが職業病として
正しく認められるようになるまで
に長い年月がかかったことなど
を話して下さった。この丹波マン
ガノ記念館は、私費経営の困難を
のりこえて、今まで歩んできた歴
史を世間に伝えようとしている。
皆様もぜひ一度訪れてみてはいか
がでしょうか。

A black and white photograph of a man in a dark suit and hat, sitting at a table and looking up. He is wearing a bow tie and has a cigarette in his hand. A woman is partially visible behind him, and there are glasses and a bottle on the table.

私が訪れた時は、記念館の方が坑内から記念館まで丁寧に説明して下さり、当時のマンガン鉱、採掘の様子などとてもよく理解することができた。また説明の中で、マンガン採掘という危険で苛酷な

ことができた。坑内には随所にアーネキンの人形で当時の採掘風景が再現されていて、リアル感を与えさせてくれる。その他にも「飯場」「ベタ車」など、当時の鉱山の様子をよりいっそう私達に感じさせてくれる。また、記念館内では、マンガン採掘に携わった人々の写真、採掘の際、実際に使われた道具類、北海道から沖縄までの、様々な地方から集められたマンガン標本が展示されている。

交通は、JRバス京都鶴ヶ岡線
下中駅下車東へ徒歩十分。自動車・
国道一六二号線下中交差点を東へ。
問合せ

『司教の小教区訪問』趣意書

京都教区司教 ライムンド田中健一

六月十五日～十六日に開かれました京都教区宣教司牧評議会において、司教の小教区訪問の実施方法が決定し、田中司教より六月十七日付けて趣意書が発表されましたので紹介致します。

しかし、小教区訪問と言いましても、全小教区を短期間で訪問することは物理的にも不可能です。従つて、いくつかの小教区合同と二十一世紀を目前にして、第二バチカン公会議の精神を生きる私たちは、全世界の教会と心を合わせて、その節目を祝う準備をしています。

京都教区でも、各小教区がよりよい福音宣教共同体となるための取組みや、教区内の組織の見直しなどをすすめています。

今秋十一月に行われる「日本二十六聖人殉教四百年祭in京都」においては、二十一世紀の福音宣教に向かって、新たにスタートいたします。

このたび、京都教区宣教司牧評議会で、「司教の小教区訪問」の提案がなされました。從来から、堅信式やその他の機

＊＊＊ 記 ＊＊＊

一、目的
紀元二千年を迎えるに当たって、教区長と信徒の自由な雰囲気の交わりの場をつくる。

4 「日々新たになる」ことを望まれる神のお望みを、どのようにとらえるか。
・自分自身の信仰のあり方をどう考えるか（NICE 2との関連で）。

5 「(司教の小教区訪問)アンケート解説書」や「二〇〇〇年」（94年11月の教区時報に掲載）なども話し合いの材料にすることもできます。

- 「(司教の小教区訪問)アンケート解説書」や「二〇〇〇年」（94年11月の教区時報に掲載）なども話し合いの材料にすることもできます。
- 二千年を迎えるに当たって、どんな準備をしていくか。
- 一人一人、また共同体の特徴やタレントをどのように發揮していいくか。
- いろいろな困難を、どのように乗り越える事ができるか。
- 将来、どんな教会になればいいか。
- 何を大切にこれから歩んでいくか。
- 家庭の中での信仰のありかたをどう考えるか（NICE 2との関連で）。
- 3 司祭や修道者の召し出しの増加は、どうすれば可能か。
- 4 「日々新たになる」ことを望まれる神のお望みを、どのようにとらえるか。
・自分自身の信仰のあり方をどう考えるか（NICE 1との関連）。
- 福音宣教に向けて、自分のタレントをどのように活かしていくか。

- 三、形式
- 各地域や各小教区の現状に合わせて自由に計画することができまます。
 - 一つのテーマについて司教と信徒が話し合う。
例えば……
 - 「井戸端会議」のように、気楽に司教と信徒が分かち合う。
 - 平日の夜に有志が集まって司教と交わる。
 - 小教区訪問の進行については、各小教区におまかせします。

- 四、計画の進め方
- 希望する小教区は、日・時・形式を決め、申し込み書をあらかじめ宣教司牧評議会事務局（在、教区事務所）に提出します。

五、説明会

この「司教の小教区訪問」について、各地区のカトリック協議会でも、説明させていただきます。

「教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的書簡・紀元二千年の到来」要旨

一、紀元二千年の聖年の意味

旧約の律法のヨベルの年（五十年目の安息、自由、解放の年）を教会でも取り入れ、千三百年から聖年として制定された。キリスト誕生二千年にこのゆるしと和解、回心の年を全人類にとっても意味のあるものとして祝う。

二、大聖年の準備と祝典

教皇の勧めⅠ反省、回心、祈りと学びによる準備。
すでに第二バチカン公会議で準備されてきたⅡ新しい福音宣教 最良の準備は公会議の教えを個人と教会の生活に適用すること。

◆第一段階（一九九四～九六年）

普遍教会における反省と行動の時
主旨

- 1、事前準備
 - 2、二千年大聖年の意味を理解する
- 内容＝大聖年準備特別委員会による推進

強調点＝教会が一致の靈である聖靈の導きに身をゆだねる方法＝公会議、特に教会憲章を学ぶ

強調点＝悔い改めと和解する。堅信や秘跡に働く聖靈への理解。

1、教会の分裂、不一致

2、教会の不寛容、暴力の黙認

3、現代の影（宗教的無関心、生命の軽視、倫理面での混乱など）
＊殉教者があかしに支えられながら歩む

◆第二段階（一九九七～九九年）

三位一体に向かられた準備
▼第一年（一九九七年）

キリストを中心とした準備の年
強調点＝回心、祈り、連帯
方法＝キリストの教えを学ぶ

1、ルカ4章を深める－福音宣教者であるキリスト

2、聖母マリアの役割を知る
3、キリストへの信仰

4、洗礼への理解と刷新

▼第二年（一九九八年）

聖靈を中心とした準備の年
主旨

強調点＝教会が一致の靈である聖靈の導きに身をゆだねる方法＝公会議、特に教会憲章を学ぶ

聖靈の理解のために
1、聖靈の働きを理解し、刷新する。堅信や秘跡に働く聖靈への理解。

1、聖靈の働きを理解し、刷新する。堅信や秘跡に働く聖靈への理解。

ハ、宗教の混合などの誤解を招か

2、福音宣教の中心は聖靈である。 3、希望の価値を再認識する。

4、希望のしるし
イ、一般社会における希望のしるし（和解、平和と正義への欲求など）
ロ、教会の希望のしるし（信徒の役割の評価、教会一致の姿勢など）

◆第三年（一九九九年）

父である神を中心とした準備の年
強調点

1、神と隣人への愛と実践
2、貧しい人、社会から見捨てられた人とのかかわり

3、世界の正義と平和への関与
4、ゆるしの秘跡の再認識－神のもとに帰る

方法

1、世俗主義への挑戦－文明の危機を愛によって乗り越える

2、宗教間の対話
イ、ユダヤ教、イスラム教との歴史的な会合の開催

六月号で掲載しました呼び掛けに従って、すでに各地区、各小教区、各団体で、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という内容で話し合いが進められていることだと思います。

五力年計画を作りましょう

紀元二千年をめざして

- ◆祝典への取り組み（二千年）
●各地での大聖年の祝典＝神に栄光を帰するため
●ローマでの国際聖年大会
- ◆おわりに
イエスと共にたえず歩みつづける。
ハ、他の世界宗教の指導者との会合の開催

ないよう注意が必要

これを参考にしながら、自分たちで取り組めそうな五力年計画を作成しましょう。司祭評議会への提出期限は九月末です。

お知らせ

◆部落問題委員会夏期合宿 沖縄からのメッセージと水平、共生、人の社会をめざして、

今年の合宿は、反差別の視点から沖縄をテーマに選びました。今なお底流としてある部落差別と沖縄問題は、共振しあうところがあるのではないか。

歴史と文化をふまえて、『沖縄の声』を聞いてみましょう。幸いに、講師の源さんの、豊富な経験とバイタリティーに富む話には説得力があり、良い研修ができると確信しております。

講師の源啓美(みなもとひろみ)さんはラジオ沖縄プロデューサー。基地・軍隊を許さない行動する女たちの会・古典琉球舞踊の名手。集団自決の渡嘉敷島を故郷にもつ。

沖縄の歴史を踏まえて、沖縄のアイデンティティを語る。「言いにくいことを話し合うことの大切さ。気づいたことを伝えることの大切さ。報道の現場にいる意味を再確認している」

▼24日12時30分～25日12時。宗教研館(聖ヴァイアトール修道会)。

個人参加五千円。団体援助のある

方七千円。申込＝15日まで。連絡
075(223)2291

三重研宗館の行事

◆暮しの中のカウンセリング 每月曜日10時～12時

◆韓国語講座 毎木曜日10時～12時

◆青年センター運営委員会 10日20時～11日前

◆津教会土曜学校合宿 17～18日

◆奈良地区の行事

◆納涼大会 17日18時ミサ後。奈良教会

◆合同慰靈祭 11日9時。登美ヶ丘教会

◆力トリック墓地「天の門」の清掃 4日9時ミサ後。御所教会

◆子羊会合宿 24～25日

西院力トリック会館行事

祝祭日休館。日曜日18時閉館 夏期休館日 12～16日

◆滋賀力トリック協議会青少年夏期練成会 16日～18日。メリノールハウス。小学校5年生～高校生

◆柳本神父の雑学講座 7日10時半。テレマ＝豊臣秀吉と京都対象。

◆聖書研究と手話の勉強 每木13時～16時半。お茶代百円

◆納涼バザー 3日18時～21時。曜日19時30分。

◆Sr.アスンタの書道教室 每金5時～16時半。お茶代百円

◆西舞鶴教会 瞽日13時30分。月謝三千円

京都北部地区の行事

◆滋賀力トリック協議会青少年夏期練成会 16日～18日。メリノールハウス。小学校5年生～高校生

◆柳本神父の雑学講座 7日10時半。テレマ＝豊臣秀吉と京都対象。

◆聖書研究と手話の勉強 每木13時～16時半。お茶代百円

◆納涼バザー 3日18時～21時。曜日19時30分。

◆Sr.アスンタの書道教室 每金5時～16時半。お茶代百円

◆西舞鶴教会 瞽日13時30分。月謝三千円

京都南部地区の行事

◆朝禱会 (すべてのキリスト者に開かれた超教派の祈りの運動)

毎週火曜日7時～8時。河原町教会伝道館。朝食及び雑費＝三百円。

◆ゲレゴリオ聖歌を一緒に歌いましょう 每土曜日19時。高野教会。連絡075(781)1245川原

◆京都力トリック混声合唱団 11日14時、24日19時

◆レジオ・マリエ京都コミチウム 18日12時30分

◆キリストン研究会 25日14時

◆一万匹の蠍 28日19時

◆生きた典礼をめざして典礼聖歌講座(五) 9月11日。テ

マ＝典礼聖歌の伝統と刷新。講師＝帘功師(大阪教区高槻教会)。

◆糠みその会 29日。九条教会会例会 18日13時30分。フランススコの家

◆子羊会合宿 24～25日

◆聖歌講座(五) 9月11日。テ

マ＝典礼聖歌の伝統と刷新。講師＝帘功師(大阪教区高槻教会)。

◆柳本神父の雑学講座 7日10時半。テレマ＝豊臣秀吉と京都対象。

◆聖書研究と手話の勉強 每木13時～16時半。お茶代百円

◆日本力トリック研修センター 9月2日～11日。内容＝子どもたちの信仰生活のコンパニオンを育てる。信徒、修道者、司祭対象。

◆力トリック墓地「天の門」の清掃 4日9時ミサ後。御所教会

◆おてんとさんの会 每火曜日3岡田久美

◆日本力トリック研修センター 5時～16時半。お茶代百円

◆聖書研究と手話の勉強 每木13時～16時半。お茶代百円

◆西舞鶴教会 瞽日13時30分。月謝三千円

河原町力トリック会館行事

◆日本二十六聖人殉教四百年祭 記念誌編集委員会 3日13時

◆力ナの会結婚相談室 4日13時受付。13時30分～15時

若者達よ！

いざ、埼玉へ！

あんてな (((((おひこ)))))

ジャパン・ユース・デイ(以下 J Y D)という言葉を、一度は耳にされたかと思います。初めて聞いたという方も、ぜひ、興味を持つて、読んでください。

J Y Dとは、今年の九月に埼玉で開かれる『カトリック全国青年のつどい』です。東京教区の青年が今回は中心となり、また、東京以外の各地の青年達も、この大きなイベントを成功させたために、がんばっています。

J Y Dの合言葉は、『出会い』です。様々なところからやってきた、様々な人達が、その様々な若者たちのまま出会うことで、つながっていけることを J Y D は、助けてくれるのです。全国の若者たちが、一つの所に集まる。でも、みんなを一つの方向へと引っ張つていこうとしないのが J Y D の特徴なのです。

私たち、様々な今まで出会い、それぞれの形を尊重した上で、つながってゆけ

るのです。

また、J Y D クラブとい

うかたちをとつて、日頃から

の青年たちの活動を大切にしています。J Y D クラ

ブとは、全国の青年たちの

J Y D 京都 小木曾恵美子

ジャパン・ユース・デイ(以下 J Y D) という言葉を、一度は耳にされたかと思います。初めて聞いたという方も、ぜひ、興味を持つて、読んでください。

J Y Dとは、今年の九月に埼玉で開かれる『カトリック全国青年のつどい』です。東京教区の青年が今回は中心となり、また、東京以外の各地の青年達も、この大きなイベントを成功させたために、がんばっています。

J Y Dの合言葉は、『出会い』です。様々なところからやってきた、様々な人達が、その様々な若者たちのまま出会うことで、つながっていけることを J Y D は、助けてくれるのです。全国の若者たちが、一つの所に集まる。でも、みんなを一つの方向へと引っ張つていこうとしないのが J Y D の特徴なのです。

いろいろな活動をクラブとして、J Y D の事務局に登録します。登録されたクラブは、お互い情報交換でき、それぞれの活動内容を、他の青年たちにアピールすることができます。

京都教区もこの、J Y D クラブに三つのクラブを登録しました。歴史観光サークル "スヌーピー"、テニスクラブ "WOODSTOCK TENNIS CLUB" そして、お風呂クラブです。歴史観光のクラブは、全国にメンバーを広げ、それぞれの土地の歴史や、観光ガイドには載っていないスポーツを、情報交換できるようなクラブを目指しています。テニスクラブは、初心者、経験者関係なく楽しくテニスできるクラブです。そして、お風呂クラブは、全国の銭湯や、温泉を入り歩くという『湯に行く』なクラブです。(担当司祭は、もちろん!)

今、これらのクラブのメンバーも募集中です。日々の活動を通して、交流を深め、そして九月の J Y D にみんなで参加しましょ

(((おひこ))) あんてな

外国語ミサ

●MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

*SHIN-AI KINDERGARTEN

~PAG-ASA COMMUNITY

Every Sunday 3 p.m.

*Franciscan house

Every Wednesday 4 p.m.

*NISHI-MAIZURU church

The first Sunday of the month 3 p.m.

*KUSATSU church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

*NARA church

The last Sunday of the month 2 p.m.

*YAGI church

The third Sunday of the month 2 p.m.

*TSU church

The second Sunday of the month 2 p.m.

*MATSUZAKA church

The first Sunday of the month 3:30 p.m.

*YOKKAICHI church

The second Sunday of the month 4 p.m.

*SUZUKA church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

●MISSA EN PORTUGUES

(ポルトガル語ミサ)

*Igreja paroquial de KUSATSU

Segundo domingo do mes tarde 15 horas

●MISA EN ESPAÑOL (スペイン語ミサ)

*Iglesia de FUSHIMI

Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

*Iglesia de KUSATSU

Primer y tercer Domingo del mes a las 2:30 de la tarde

*Iglesia de YAGI

Primer Domingo del mes a las 2 de la tarde

*Iglesia de NISHI-YAMATO

Segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde

*Iglesia de SUZUKA

Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

●한국어 미사 (韓国語ミサ)

*京都ユリアン・カトリックセンター

第1日曜日 午前10時

